

# 足利市（栃木県）

## 【自治体のあらまし】

足利市は、栃木県の南西部に位置しており、北部には足尾山地、南部には関東平野が広がり、中央に渡良瀬川が流れている。大正10年に市制を施行して足利市が発足し、その後、近隣町村の編入を経て現在に至る。

古くから織物のまちとして知られているが、近年はアルミや機械金属、プラスチック工業などを中心に、総合的な商工業都市となっている。

人口 148,133人（平成29年3月1日現在）

## 【文化芸術創造都市への代表的な取組】

足利市民会館、足利市民プラザを中心とする長年にわたる着実な芸術文化普及活動や市民参加型の創造事業に加えて、平成25年には市民会館専属のプロフェッショナル芸術団体（オペラ、ミュージカル、オーケストラ）を立ち上げ、これらによる活動は市域内での公演やアウトリーチ活動だけでなく、近隣地域へ波及した活動に広がりつつある。また、映像のまち構想プロジェクトにより、市民が映像を身近に感じ、楽しみながら積極的に参加できる取組を進めている。

### ●文化によるまちづくり

平成12年6月に、日本最古の学校といわれる足利学校や、室町幕府を創設した足利氏ゆかりの館跡であるやかた鏝阿寺ばんなじなどの貴重な歴史遺産を未来に継承するとともに、市民生活との調和を図りながら個性豊かな魅力あふれるまちづくりを進めることを内容とする歴史都市宣言を行った。



日本最古の学校「足利学校」

平成23年3月には、「足利市歴史文化基本構想」を策定し、周辺環境も含めて地域の文化財の総合的な保存と活用に取り組んでおり、中でも市内に数多く残る文化財を一斉に公開する「文化財一斉公開」事業には、毎年市内外から多くの見学者が訪れるなど、歴史と文化のまちとしての魅力ある事業を積極的に推進している。

足利市民会館では、文化芸術による現代版「足利学校」創造プロジェクトを発足し、市民ミュージカルやユースオーケストラに係る取組、さらには伝統芸能の継承・普及など、市民文化の醸成や人材育成、地域交流を通してのにぎわい創出を推進している。

## ●市民会館専属のプロフェッショナル芸術団体の発足

長年にわたり、優れた舞台芸術の鑑賞・体験機会の提供や市民参画創造事業に取り組んできた足利市民会館において、平成25年5月に「足利 ミュージカル」、「足利カンマーオーケスター」、「足利オペラ・リリカ」という3つの専属プロフェッショナル芸術団体を発足させ、定期公演、市内学校向けの芸術教室・芸術鑑賞会や部活動指導、福祉施設等におけるアウトリーチ活動等を行っている。

また、それぞれの部門において、足利学校に倣い「学びの視点」を取り入れ、人材養成のための研究科を開校し、継続的な研修カリキュラムを設けている。



足利オペラ・リリカ  
のアウトリーチ

### <専属団体の定期公演>



足利ミュージカル



足利カンマーオーケスター



足利オペラ・リリカ

## ●映像のまち構想プロジェクト

“映像”というコンセプトをまちづくりの基軸に盛り込み、多彩なプロジェクトを官民一体となって実施することにより、市民意識への浸透を図り、風土や文化として息づかせるとともに、観光誘客や経済活性化を目指している。

足利市出身者やゆかりのある映像関係者等による「足利銀幕会議」を開催し、提言や事業参画を得ながら各事業に取り組んでいる。映画、ドラマ等のロケーション誘致に加えて、市域で撮影された映画の上映会（「あしかが映像まつり」）や参加・体験型のワークショップ等、多くのイベントを開催している。



途切れることのない撮影隊  
監督・スタッフも常に真剣勝負！